

1 単元名 第4章わたしたちの暮らしと経済 4節「国民生活と福祉」

2 教材について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領公民的分野の内容「(2)国民生活と経済」の「イ国民生活と福祉」に基づいている。そこでは、「国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について考えさせる。その際、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解させるとともに、限られた財源の配分という観点から財政について考えさせる。」ことを主なねらいとしている。

本単元を指導する際に留意すべき点として、制度や仕組みの学習に深入りすることを避け、あらましについて理解させること。財政については、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえて考えさせることが挙げられている。

また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせること、分野全体を通して、習得した知識を活用して、社会的事象について考えたことを説明させたり、自分の意見をまとめさせたりすることにより、思考力、判断力、表現力等を養うことへも留意して指導する必要がある。

(2) 生徒について

社会科の学習に対する生徒の実態は、社会的事象について興味・関心があり、しっかり生徒が多い反面、発言する生徒が少ない。

本単元の内容は、現在から将来の日本が抱える最大の問題であり、生徒たちが、社会の中心で活躍する時代には最も深刻化する問題であると考えられる。しかし、生徒の実態は、財政、社会保障制度など内容が複雑であることもあり、当事者であるという意識は低い状況である。

(3) 指導観

本単元の内容は、生徒たちが将来主権者となったときに直面する、避けられない問題についての内容である。

これらの諸問題について、主権者となる生徒達が、資料の読み取りを通して財政と社会保障の諸問題について「どう考え、どう判断するのか」という学習活動を通して自分の考えを深化させたい。

導入では、前時に学習した租税収入について復習し、時事についても触れながら本時に学習することに興味を持たせたい。展開では、財政や社会保障の諸問題を考えさせる資料を提示し、読み取らせたい。終末では、周りの意見を基に自分の意見を確立させたい。

生徒が主体的に取り組む課題を設定し、活用させることで基礎・基本の定着が図られる授業を展開していきたい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

- ・ 国民生活と福祉の向上を図るうえでの国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について、租税の意義と役割、納税の義務を通して理解する。
- ・ 少子高齢社会と社会保障の充実、日本経済の発展と課題など、経済上の諸課題に関心を持ち、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について多面的・多角的に考えることができる。
- ・ 社会保障や経済に関する課題学習において、諸資料の活用を図り、自分たちの考えをまとめ、発表できる。

(2) 評価規準

[社会的事象への関心・意欲・態度]

- ・ 国や地方公共団体の経済活動に対し関心を持ち、課題学習を意欲的に学習し、租税の意義と役割、少子高齢社会や経済上の諸課題を自らの問題として考えようとしている。

[社会的な思考・判断・表現]

- ・ 国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について多面的・多角的に考え、さまざまな観点や立場から公正に判断している。

[資料活用の技能]

- ・ 社会保障や経済に関する課題学習において、さまざまな情報手段を用いて自分の考えをまとめたり、わかりやすく発言や発表を行ったりしている。

[社会的事象についての知識・理解]

- ・ 国民生活と福祉の向上を図るため、国や地方公共団体が果たしていることならについてのあらましを租税と財政、社会保障、公害と環境を通して理解し、その知識を身につけている。

4 単元の指導計画・評価計画（7時間扱い）

省略

5 本時の学習

(1) 指導の構想

消費税が今後増税することについて賛成か反対か自分の考えを持たせたい。考えを深化させるために2つの資料の読み取りをしっかりとさせたい。また自分の考えに他者の意見も参考にするような授業を展開したい。

(2) 言語活動について

既習事項や資料を活用し、これから訪れる諸問題について、自分の意見を持ち、周りとの意見を交流しながら思考、判断を深化させたい。

(3) 本時のねらい

- ・ 消費税についての話し合いを通して税金の役割や問題点に気づき、自分の考えを説明することができる。【思考・判断・表現】

- 消費税に興味を持ち、自分たちの身近な問題として考え課題解決に取り組むことができる。
【関心・意欲・態度】

(4) 評価規準

- ① 消費税増税について賛成か反対か資料を読み取り、自分の考えを持つことができる。

【思考・判断・表現】

- ② 消費税増税に賛成か反対か考えようとする。【関心・意欲・態度】

(5) 本時の展開

段階	過程	学習活動 ○予想される反応	形態	指導上の留意点 ◆言語活動	評価 資料等
導入 7分	課題把握・課題設定	1 前時の学習から、税金にはどんな税があったか想起させる。	一斉	・復習をし、本時とのつながりを持たせる。	・新聞記事から事実認識をしっかりとつかませる。
		2 新聞記事などから消費税増税をとらえ、本時の課題につなげる。	一斉	・資料の読み取りからキーワードとなる言葉に気づかせたい。また、いろんな税がある中で消費税に焦点を当て考えさせたい。	
		3 登米っ子班を作り、課題の確認。	班	◆学習課題をしっかりと確認する。 《記録》	
<p>課題 「消費税増税に賛成か反対か、考えてみよう。」</p>					
展開 38分	課題追求	4 課題についての自分の考えを書く。 ○将来、お金が足りなくなると思うから、増税に賛成。 ○税金が高くなると、生活が苦しくなると思うので、増税に反対。	個	・生活経験や既習事項を基に考えさせる。 ・主権者になったときに避けられない社会問題であることを補足する。	・自分の意見をノートにまとめる。 (評価①)
		5 それぞれの立場で意見交流する。	班	◆自分の考えをまとめ、説明することができる。また、周りの意見をしっかりと聞き参考になることはメモする。 《記録・要約・説明》	
		6 資料から国の財政上の問題や税の役割を知る。 ①新聞記事高齢者や子供の資料 ②社会保障制度に関する資料	個	◆資料の読み、自分の感想を持つ。 《記録・要約・説明》 ・消費税が上がることで低所得者の立場の人たちに気づかせたい。 ◆資料を読み取り、ポイントを要	・2つの資料について自分の意見をまとめる。

		7 税の役割や財政上の問題についてまとめる。	一斉	<p>約する。《要約》</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費税を上げないと，医療や年金などの個人負担が増えることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> 税の特徴や財政上の問題についてまとめる。 ◆自分の考えをまとめ，発表する。《記録・要約・説明》 	<ul style="list-style-type: none"> まとめを受けて自分の考えを整理し，発表することができる。 <p>評価② (発表)</p>
終 末 5 分	ま と め	8 学習したことを振り返り，課題について自分の言葉で発表する。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> これからの政治の動向にも目を向け，生活してことの重要性も付け加える。 次時の登米っ子学習課題を提示する。 	